

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	2024年3月6日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目4番2号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ジャパン マリンユナイテッド株式会社 代表取締役社長 灘 信之

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015 JISQ14001:2015
適用範囲	ジャパンマリンユナイテッド（株）舞鶴事業所、JMU [®] イフェンスシステムズ [®] （株）及びその他関係会社3社 合計5社
導入年月日	1998/3/27
認証番号	10176585
基本方針	地球環境の保全が企業の社会的責務であるとの認識に立ち、環境と調和した事業活動を推進すると共に、地球環境にやさしい商品の提供を通じて環境負荷低減に努め、社会の持続的な発展に貢献する
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. 省エネルギー目標 CO2排出量を原単位で前年度比1%削減 2. 省資源目標 水道使用量を原単位で前年度比1%削減 3. 廃棄物削減目標 廃棄物発生量を原単位で前年度比1%削減 4. 環境活動におけるリスク低減
目標を達成するための取組の内容	1. 省エネルギー目標 老朽変圧器の設備更新、場内電灯のLED化、エア・ガス管等漏れ定期確認等 2. 省資源目標 場内水道管の漏水箇所特定と計画的な補修、老朽配管設備の更新等 3. 廃棄物削減目標 不要な廃棄物の抑制、分別廃棄の徹底、廃棄物の有価物化を促進等 4. 環境活動におけるリスク低減 法令順守、周辺環境への配慮、環境意識の向上
目標を達成するための取組の進捗状況	1. 省エネルギー目標 老朽変圧器、老朽コンデンサーの更新、場内電灯のLED化を計画的に実施 2. 省資源目標 漏水箇所特定と補修、埋設配管の可視化、節水の啓蒙 3. 廃棄物削減目標 廃棄物分別要領書による分別回収の周知徹底、定期点検の実施 4. 環境活動におけるリスク低減 各種届出事項の提出、排水口排水分析、VOC、有害物質測定による監視
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	事業所内の各部門において計画どおり取組むことができています。
事業活動に係る法令の遵守の状況	原則として1回/年の事業所環境システム委員会にて経営層に報告して確認をしている。法令で定められた届出や測定の実施においては、本年度、7月現在で行政等からの指導はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	原則として1回/年、事業所環境システム委員会を開催し、環境マネジメントシステムに係る事項（環境理念、環境方針の確認、マネジメントプログラム進捗状況、内部監査報告等）について審議している。 令和3年1月の委員会では、それぞれの部門で、著しい環境側面に対する予防措置がとられており、良好に機能していることが確認された。 なお、令和3年2月に認定機関ロイド（LRQA）によるISO14001：2015年版の更新審査を受け、認証を更新している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。